

稲作農家の皆さまへ

在庫過多で、米価下落が現実味を帯びる。
今こそ需要に応じた生産を！

在庫量「200万トン」の壁を突破

令和8年6月末の在庫は221万~234万トンに達し、米価下落の危険水域へ突入。

民間在庫量(万トン)

300

100

200万トン (米価下落の目安)

令和8年6月末:
221~234万トン

令和3、4年には、在庫が200万トンを超え、米価が下落した歴史があります

今年の米価、いくらですか？

1.5万円？

2万円？

7年産米の高値は、米不足による一時的なものです。

現在の在庫は過去最大水準であり、高値は続かないと考えられます。

米
米
米
米
米
米

米の販売は停滞！

販売数量は前年比
87%に留まる
(3月末現在)

(年)

米価
下落

主食用米の作付は、目安を大きく上回る見込み

⇒県農業再生協議会（以下、県協）では、8年産目安を64,999ha（前年実績比▲2.6%）としました。一方、県協が実施した作付意向調査結果（4月末）では、目安を約2,750ha上回る意向が示されています。今後、在庫がさらに増加する可能性があります。

令和8年度 水田活用の直接支払交付金等の対象作物別支援一覧(国・県)^{*}

対象作物	助成内容／対象の取組	交付単価（10aあたり）
飼料用米	戦略作物助成(国)／収量に応じて	5.5万円～10.5万円（多収品種で取り組んだ場合） （飼料用米を一般品種で取り組んだ場合は5.5万円～7.5万円）
	産地交付金(県)／生産性向上等の取組	0.8万円以内（多収品種での取組）、0.5万円以内（一般品種での取組）
新市場開拓用米	コメ新市場開拓等促進事業(国)	4万円（多収品種加算0.5万円あり）
	産地交付金(県)／生産性向上等の取組	1.3万円以内
	産地交付金(国)／複数年契約	1万円（契約初年度のみ、コメ新採択者が対象）
	産地交付金(国)／作付け	2万円 ^{*2}
加工用米	コメ新市場開拓等促進事業(国)	3万円（多収品種加算0.5万円あり）
	戦略作物助成(国)／作付け	2万円 ^{*2}
	産地交付金(県)／生産性向上等の取組	0.6万円以内
	産地交付金(県)／複数年契約	0.6万円以内
米粉用米	コメ新市場開拓等促進事業(国)	9万円（多収品種加算0.5万円あり）
	戦略作物助成(国)／収量に応じて	5.5万円～10.5万円 ^{*2}
	産地交付金(県)／生産性向上等の取組	0.6万円以内
	産地交付金(県)／複数年契約	0.6万円以内
酒造好適米	コメ新市場開拓等促進事業(国)	取組年数に応じて最大3万円（1万円×最大3年間）
WCS用稲	戦略作物助成(国)／作付け	8万円
	産地交付金(県)／生産性向上等の取組	0.6万円以内
高収益作物(野菜等)	畑作物産地形成促進事業(国)	4万円
	産地交付金(県)／拡大	2.5万円以内（前年度からの拡大面積のみ対象）
麦、大豆、飼料作物 (子実用とうもろこし以外)	畑作物産地形成促進事業(国)	4万円
	戦略作物助成(国)／作付け	3.5万円 ^{*2}
子実用とうもろこし	畑作物産地形成促進事業(国)	4万円
	戦略作物助成(国)／作付け	3.5万円 ^{*2}
	産地交付金(県)／拡大	2.5万円以内（前年度からの拡大面積のみ対象）
	畑地化促進助成(国)／作付け	1万円（水田農業高収益化推進計画に位置付けられた産地の取組が対象）
そば、なたね	産地交付金(国)／作付け	2万円

※1 上記の他、市町村によっては、独自の助成が加算されます（産地交付金（地域設定）など）。

※2 コメ新市場開拓等促進事業・畑作物産地形成促進事業の採択分の面積は、戦略作物助成（加工用米、米粉用米、麦・大豆・飼料作物）、産地交付金（国）／作付けの支援の対象外となります。

営農計画書の提出は6月末まで可能です。田植後の今からでも、営農計画の見直しはできます。

（コメ新事業、複数年契約を活用しない場合でも、

- ・加工用米：2.6万円/10a、
- ・新市場開拓用米：3.3万円/10a の交付金が活用できます。）

【お願い】

経営の全てを作付転換する必要はありません。
経営の一部、1区画（10a）からでも、非主食用米の導入を、御検討ください。

制度や出荷用途の変更については、お住まいの市町村の地域農業再生協議会
またはお近くのJAまでお問い合わせください（チラシ作成：茨城県農業再生協議会）